

2022年 **1月22日(土)** 13:00~17:00



オンライン研修

話題提供

「思いをかたちにつなげるソーシャルアクションのために！」

話題提供者：聖学院大学 心理福祉学部 助教
茨城県精神保健福祉士会 理事 小沼 聖治 氏

シンポジウム

▶【精神科医療機関の立場より】
独立行政法人国立病院機構賀茂精神医療センター
広島県精神保健福祉士協会 事務局長 大歳 明子 氏

▶【行政機関の立場より】
青森県青森市保健所
青森県精神保健福祉士協会 理事 波田野 隼也 氏

▶【地域の立場より】
一般社団法人 イケダ大学（大阪） 理事 小村 絹恵 氏

▶コーディネーター
（一社）鹿児島県精神保健福祉士協会 副会長 鶴田 啓洋 氏

グループワーク

県を超えたソーシャルワーカーが交流しながら共に学び、深める場
▷演習ファシリテーター 青森県精神保健福祉士協会 竹内 一貴 氏

- ◆募集人数 : 45名
- ◆参加要件 : 精神保健福祉士 (3県他の都道府県)
- ◆締め切り : 2022年1月17日
- ◆参加費 : 無料
- ◆お申込先 : QRコードからお申し込み下さい。
- ◆お問合せ先 : hmhsw.kensyuu@gmail.com (広島県精神保健福祉士協会)



ソーシャル アクション 研修

～全国の仲間の実践を通して、
明日からできる第一歩を踏み出そう～

ソーシャルアクション研修～全国の仲間の実践を通して明日からできる第一歩を踏みだそう～

◆話題提供者

聖学院大学心理福祉学部 助教茨城県精神保健福祉士会 理事 小沼 聖治 氏

テーマ：「想いをかたちにつなげるソーシャルアクションのために！」

概要：精神障害当事者や家族の方々の切なる想いを形にするために、いま私たちができるアクションの第一歩は何なのでしょう。これまで取り組んできたソーシャルアクション研究を紐解きながら、その一歩目を踏み出すための基本的な視点やかかわりについて概観します。

◆シンポジウム

◇【精神科医療機関の立場より】

独立行政法人国立病院機構賀茂精神医療センター広島県精神保健福祉士協会 事務局長 大歳 明子 氏

テーマ：「長期入院者の地域移行支援の取り組み～病院の中でのソーシャルアクションを考える～」

概要：「地域の風を病院に入れるにはどうしたらいいか」。病院のPSWとして、私が追いつけたテーマです。「地域移行支援に関する検討会」と「オンライン施設見学」、2つの実践を通して病院PSWとしてできるソーシャルアクションについて考えます。

◇【行政機関の立場より】

青森県青森市保健所青森県精神保健福祉士協会 理事 波田野 隼也 氏

テーマ：「医療と福祉をつなぐ行政ができるソーシャルアクション（仮）」

概要：私は行政機関のPSWとして、医療機関と地域の事業所とのつながりを作る中で、多くの長期入院している方と出会い、退院に向けたシステムづくりをしてきました。自分の実践を振り返りながら、行政機関のPSWができるソーシャルアクションをお伝えします。

◇【地域の立場より】

一般社団法人 イケダ大学 大阪 理事 小村 絹恵 氏

テーマ：「だれもが排除されない街、まちづくり志向への実践を試みて(仮)」

概要：PSWとして働く中、どこまでも続く「分断」と「管理」。精神的困難にある人への「まちで生きる」支援が解らなくなかったとき、イタリアでの「生の危機」を「みんなの危機」として分かち合い、みんなで生きる街を実現している実践、思想から学んだ挑戦と課題をお伝えしたいと思います。